

# 学生の確保の見通し等を記載した書類

## (1)学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

### ア. 設置又は定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析

新潟大学医学部医学科では、教育目標の一つに「地域の医療に貢献するとともに、国際的に活躍できる人材の育成」を掲げており、地域の医師不足に係る切実な要請に応え、新潟県内の将来の医療を担うという強い意志をもった者を対象とした「地域枠」による入学定員増を実施してきた。新潟県内の臨床研修医数は徐々に増加してはいるものの、新潟県はいまだに深刻な医師不足の状況となっている。

### イ. 地域・社会的動向等の現状把握・分析

近年の急速に進行する少子高齢化などに伴い、医療分野におけるニーズは日々、高度化・多様化している。新潟県は、県土が広大なうえ過疎や豪雪等の地理的特性を有することに加え、医師の都市部への集中に伴う地域的な偏在もあり、医師不足が深刻な問題となっている。

最新の新潟県の医師偏在指標は184.7(全国255.6)で、全国45位と最低レベルである【資料1】。また、将来時点(2036年時点)において、新潟県は1,500人以上の医師が不足し、医師養成数は年間100人以上が不足するとされている。現在、臨床研修医や専攻医など若手医師は、東京都など都市部に集中していることから、新潟県では若手医師の確保が課題となっている。

### ウ. 新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等

新潟大学医学部医学科では、医師不足に係る切実な地域ニーズを鑑み、平成20年度から入学定員の臨時定員増を実施してきたが、現在認可されている臨時定員増が令和5年度で終了すること及び新潟県では未だ深刻な医師不足の状態であることから、令和6年度に再度定員増(40人)を行い、新潟県と連携しつつ、地域における医師の確保ならびに地域医療を担う医師の養成を推進し、深刻化著しい医師不足の解消に貢献する。

なお、令和6年度限定の定員増を行うものであるため、教育課程等については、既設プログラムを基礎として「地域医療」に関する授業及び実習を実施し、6年間を通じて継続的かつ体系的に教育することにより、一層の教育効果の実現を図ることとする。

また、「医学科における専門教育に関する授業科目履修方法」【資料2】のとおり、医学部医学科専門科目に関する授業科目は全て必修としており、「地域枠」で入学する学生とそれ以外の学生との区別は行っていない。

「地域医療」に関する授業科目は次のとおりである。

学年	授業科目名	科目の概要
1年次	早期医学体験実習(EME)	医学学習の開始にあたり、医療の現場に接し、社会における医学の役割を学ぶ。
4年次	臨床実習I A	臨床実習I A, B, Cの開講期間に、各臨床科目をローテーションして臨床実習を行う。実際の医療に接する場で、全人的医療を実践するために必要な各
5年次	臨床実習I B	

		臨床科目の基本的知識，問題解決能力，技能および態度を修得する。そのうち「地域医療」については，遠隔地（魚沼地域）で実習を行う。
5年次	臨床実習ⅠC	
5年次	臨床実習ⅡA	臨床実習ⅡA，Bの開講期間に，4週間を1クールとし，6クール（新潟大学医歯学総合病院3クール，医師不足地域にある村上総合病院，魚沼基幹病院，県立十日町病院，佐渡総合病院などを含む学外病院3クール）を各臨床科目で臨床実習を行う。主として，患者と接する医療現場において，医師として全人的医療を実践するために必要な，患者，医師，他職種医療スタッフとのコミュニケーション能力，身体診察法，臨床推論，問題解決，治療計画，プレゼンテーションなどの基本的臨床技能と態度を修得する。
6年次	臨床実習ⅡB	

## エ. 学生確保の見通し

### A. 学生確保の見通しの調査結果

本学部の令和5年度オープンキャンパスにおいて，参加者414名に対してアンケート調査を実施し，407名より回答を得た。本アンケートの設問「参加の目的について，当てはまるものすべてにチェックしてください。（複数選択可。）」においては，118名から「地域枠に興味があるため」の回答があり，このことから，新潟県地域枠への関心が高いことが確認できる。

#### 【医学部医学科オープンキャンパス2023・アンケート調査】

<p><b>【質問】</b></p> <p>参加の目的について，当てはまるものすべてにチェックしてください。（複数選択可。）</p>
<p><b>【回答】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟大学医学部医学科を受験するつもりで，大学の様子を知っておきたいため（249名）</li> <li>・医学部医学科を受験するつもりで，新潟大学医学部医学科と他大学を比較するため（177名）</li> <li>・新潟大学を受験するつもりで，医学部医学科の受験を検討するため（46名）</li> <li>・地域枠に興味があるため（118名）</li> <li>・その他（17名）</li> </ul>

また，本学部では，新潟県地域枠による入学定員の臨時定員増を実施した過去3年間で志願倍率が3倍を超えていることから，令和6年度に新潟県地域枠による入学定員の臨時定員増を実施した場合においても，学生の確保は十分可能であると考えます。

入学年度	新潟県地域枠（新潟大学）				
	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率
令和3年度	27名	89名	89名	27名	3.2倍
令和4年度	33名	125名	125名	33名	3.7倍
令和5年度	40名	155名	155名	40名	3.8倍

## B. 新設学部等の分野の動向

新潟県では医師不足を解消するため、本学部以外に、順天堂大学、関西医科大学、昭和大学、東京医科大学、東邦大学、杏林大学、日本医科大学、日本大学、北里大学と連携し、新潟県地域枠による入学定員の臨時定員増を実施している。

各校における令和5年度新潟県地域枠の出願状況を調査したところ、志願倍率が非常に高い値となっており、新潟県地域枠のニーズが高いことが確認できる。

また、本学部においても過去3年間の志願倍率は3倍を超えていることから、令和6年度に新潟県地域枠による入学定員の臨時定員増を実施した場合においても、学生の確保は十分可能であると考えられる。

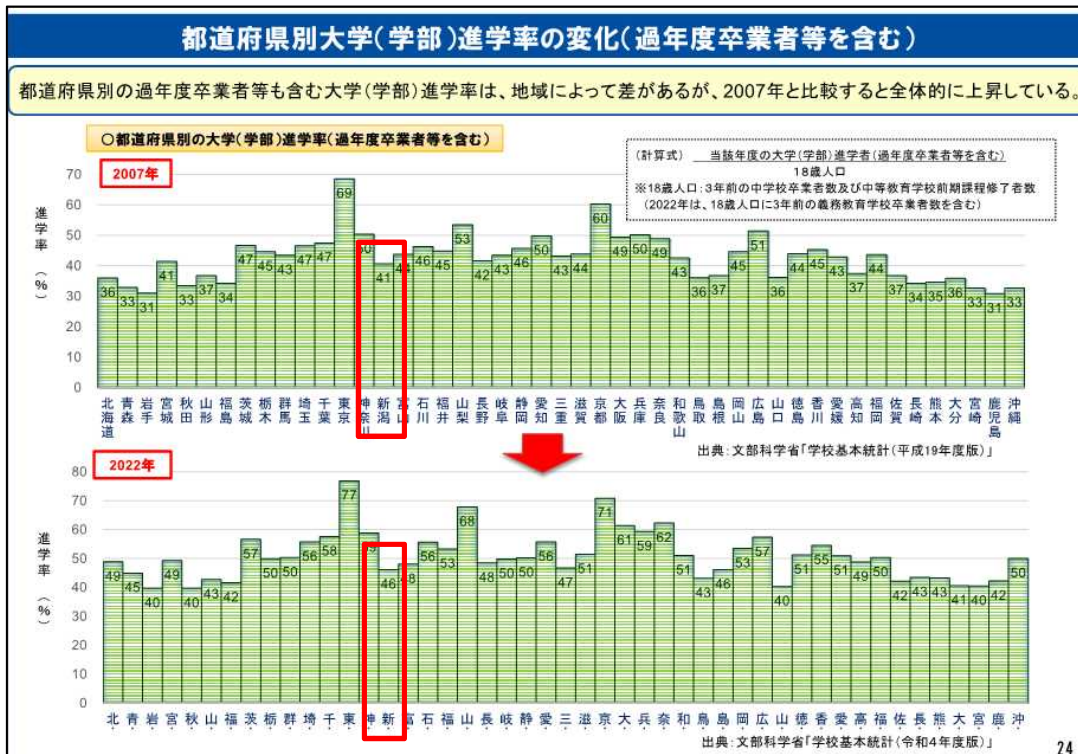
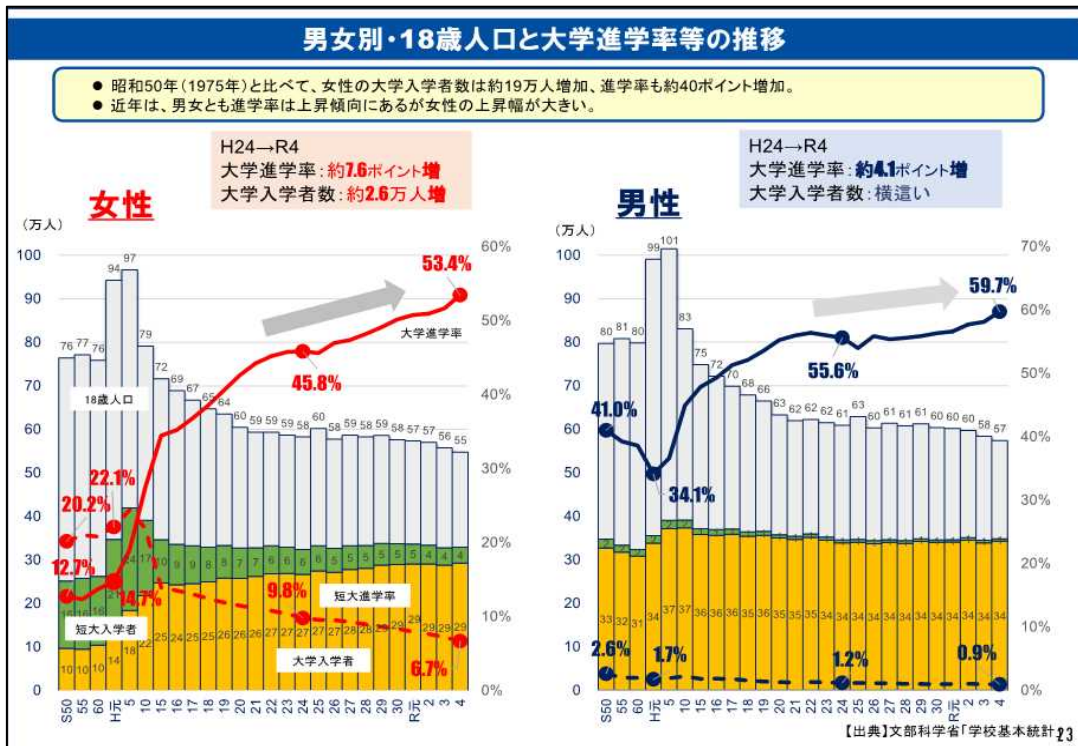
なお、順天堂大学、杏林大学、日本大学における新潟県地域枠の志願倍率等については、ホームページで公表されている入試情報は他県の地域枠と合算された総計となっているため、確認をすることはできなかった。

大学名	令和5年度 新潟県地域枠				
	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	志願倍率
新潟大学	40名	155名	155名	40名	3.8倍
関西医科大学	2名	11名	11名	2名	5.5倍
昭和大学	7名	101名	94名	8名	14.4倍
東京医科大学	3名	15名	14名	3名	5.0倍
東邦大学	7名	100名	91名	7名	14.2倍
日本医科大学	2名	90名	86名	2名	45.0倍
北里大学	3名	10名	10名	3名	3.6倍
計	64名	482名	461名	65名	7.5倍

### C. 中長期的な 18 歳人口の全国的、地域的動向等

全国の 18 歳人口の推移においては減少局面に入っており、今後も減少することが予測されているが、一方で、大学進学率は上昇している。

また、本学部の新潟県地域枠の 8 割を占める新潟県出身者の大学進学率については、平成 19 年度と比較して上昇しており、このことから、令和 6 年度に新潟県地域枠による入学定員の臨時定員増を実施した場合においても、学生の確保は十分可能であるとする。



#### D. 競合校の状況

本学部の競合校として、新潟県の隣県（山形県，群馬県，福島県，長野県，富山県）の国立大学のうち，医学の学位を授与している山形大学医学部医学科，群馬大学医学部医学科，信州大学医学部医学科，富山大学医学部医学科が競合校として想定される。

各校の入試状況等を確認すると，志願倍率は3～4倍であり，競合校においても十分学生が確保できているため，医学の分野に対するニーズは非常に高いと判断できる。なお，山形大学は後期日程試験を実施していることから，志願者数及び志願倍率が高い値となっている。

また，本学部においては，新潟県地域枠による入学定員の臨時定員増を実施しているにも関わらず，令和5年度の志願倍率が3倍を超えている状況である。

このことから，令和6年度に新潟県地域枠による入学定員の臨時定員増を実施した場合においても，学生の確保は十分可能であると考ええる。

大学・学部名	令和5年度 入試状況					
	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率
新潟大学医学部医学科	140名	542名	460名	149名	140名	3.8倍
山形大学医学部医学科	113名	829名	605名	116名	113名	7.3倍
群馬大学医学部医学科	108名	397名	290名	113名	108名	3.6倍
信州大学医学部医学科	120名	448名	375名	125名	120名	3.7倍
富山大学医学部医学科	105名	498名	348名	110名	106名	4.7倍

#### E. 既設学部等の学生確保の状況

新潟大学医学部医学科の入学定員については，平成20年度に新医師確保総合対策に基づき臨時定員増が認められて以降，「地域枠」に係る増員が現在まで継続的に認められている。

最近では，令和元年度を期限として認められた22名の増員が令和3年度まで継続して認められ，また，令和3年度限りの5名増員が認められたことから，令和3年度の入学定員を127名とした（一般入試80名，推薦入試「一般枠：20名，地域枠27名」）。令和4年度は，地域枠として33名の臨時定員増が認められたことから，入学定員を133名（一般入試80名，推薦入試「一般枠：20名，地域枠33名」）とし，さらに令和5年度においては，地域枠の上限となる40名の臨時定員増が認められたことから，入学定員を140名（一般入試80名，推薦入試「一般枠：20名，地域枠40名」）とした。

令和6年度は，令和5年度と同様に地域枠として40名までの臨時定員増が認められたことから，入学定員を140名（一般入試80名，推薦入試「一般枠：20名，地域枠40名」）に変更するものである。

本増員計画は，地域社会の要請に応え，地域における医師の確保ならびに地域医療を担う医師の養成を図るものであり，入学者の選抜は，新潟大学医学部医学科学校推薦型選抜「地域枠」（出願要件は，新潟県を含む全国の高等学校出身者）によるものとし，「一般枠」と「地域枠」のそれぞれに募集人員を設け，地域枠希望者を区別して選抜を行う。

医学部医学科における過去5年間の平均志願倍率からも，再度の入学定員増を行うことは妥当であり，定員充足の見込みは高いと判断される。

入学年度	全体								学校推薦型選抜(推薦入試)【地域枠のみ抜粋】									
	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	辞退者数	入学者数	歩留率	定員超過率		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	辞退者数	入学者数	歩留率	定員超過率	
令和元年度	122	641	423	124	2	122	98.4%	1.0	地域枠A	5	89	89	5	0	5	100%	1.0	
									地域枠B	12	88	88	12	0	12	100%	1.0	
令和2年度	122	490	419	123	1	122	99.2%	1.0	地域枠	22	85	85	22	0	22	100%	1.0	
令和3年度	127	434	382	131	4	127	96.9%	1.0	地域枠	27	89	89	27	0	27	100%	1.0	
令和4年度	133	511	429	137	4	133	97.1%	1.0	地域枠	33	125	125	33	0	33	100%	1.0	
令和5年度	140	542	460	149	9	140	94.0%	1.0	地域枠	40	155	155	40	0	40	100%	1.0	
(過去5年平均)		129	524	423	133	4	129	97.0%	1.0	地域枠A	5	91	91	5	0	5	100%	1.0
										地域枠B	12	89	89	12	0	12	100%	1.0
										地域枠	22	85	85	22	0	22	100%	1.0
										地域枠	27	89	89	27	0	27	100%	1.0
										地域枠	33	125	125	33	0	33	100%	1.0
地域枠	40	155	155	40	0	40	100%	1.0										

## F. その他、申請者において検討・分析した事項

### オ. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

令和5年度新潟大学医学部医学科オープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、人数制限を設けた来場型オープンキャンパスとインターネットを活用したWeb型オープンキャンパスをハイブリッドで実施するとともに、新潟県主催「地域医療を担う医師を目指す医学部志望者向け大学入試等説明会」、また、新潟県内の高校（公立、私立）に働きかけ、医学科への進学を真剣に考える学生に特化した「新潟大学医学部医学科体験講座」において、地域枠への進学も含めた医学科への進学を促し入学者の確保に努めている。このほか、医学科進学実績の高い県外高校での説明会の開催や医学部進学フォーラムなどに参加している。

これらの取組は、高校生に対し地域枠への進学を含めた本学医学科への進学モチベーションを高め、地域医療に従事する明確な意思をもった学生の確保に繋がると考えられる。

## (2) 人材需要の動向等社会の要請

### ① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

新潟大学は、精選された教育課程を通じて、豊かな教養と高い専門知識を修得して時代の課題に的確に対応し、広範に活躍する人材を育成することを教育目標に掲げている。これを踏まえ、医学部医学科では「医学を通して人類の幸福に貢献する」という教育理念のもと6つの教育目標を掲げている。

(教育目標)

1. 豊かな人間性と高い倫理性を備え、全人的医療に貢献できる人材の育成
2. 高度の専門性を持つ医療チームの一員として貢献できる人材の育成
3. 広い視野と高い向学心を有する医学研究者・教育者となり得る人材の育成
4. 保健、医療、福祉、厚生行政に貢献できる人材の育成
5. 地域の医療に貢献するとともに、国際的に活躍できる人材の育成
6. 探求心、研究心、自ら学ぶ態度を生涯持ちつづける人材の育成

### ② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

近年の急速に進行する少子高齢化などに伴い、医療分野におけるニーズは日々、高度化・多様化している。新潟県は、県土が広大なうへ過疎や豪雪等の地理的特性を有することに加え、医師の都市部への集中に伴う地域的な偏在もあり、医師不足が深刻な問題となっている。

最新の新潟県の医師偏在指標は184.7（全国255.6）で、全国45位と最低レベルであり、また、将来時点（2036年時点）において、新潟県は1,500人以上の医師が不足し、医師養成数は年間100人以上が不足するとされている。

新潟大学医学部医学科は、掲げる教育目標に沿い、地域の医師不足に係る切実な要請に応え、地域における医師の確保ならびに地域医療を担う医師の養成を推進し、深刻化著しい医師不足の解消に貢献するものである。



## 医師偏在指標

(都道府県別)

上位33.3% 下位33.3%

都道府県コード	都道府県	医師偏在指標	都道府県コード	都道府県	医師偏在指標
00	全国	255.6	24	三重県	225.6
01	北海道	233.8	25	滋賀県	260.4
02	青森県	184.3	26	京都府	326.7
03	岩手県	182.5	27	大阪府	288.6
04	宮城県	247.3	28	兵庫県	266.5
05	秋田県	199.4	29	奈良県	268.9
06	山形県	200.2	30	和歌山県	274.9
07	福島県	190.5	31	鳥取県	270.4
08	茨城県	193.6	32	島根県	265.1
09	栃木県	230.5	33	岡山県	299.6
10	群馬県	219.7	34	広島県	254.2
11	埼玉県	196.8	35	山口県	228.0
12	千葉県	213.0	36	徳島県	289.3
13	東京都	353.9	37	香川県	266.9
14	神奈川県	247.5	38	愛媛県	246.4
15	新潟県	184.7	39	高知県	268.2
16	富山県	238.8	40	福岡県	313.3
17	石川県	279.8	41	佐賀県	272.3
18	福井県	246.8	42	長崎県	284.0
19	山梨県	240.8	43	熊本県	271.0
20	長野県	219.9	44	大分県	259.7
21	岐阜県	221.5	45	宮崎県	227.0
22	静岡県	211.8	46	鹿児島県	254.8
23	愛知県	240.2	47	沖縄県	292.1

※都道府県の医師確保計画の策定スケジュールを踏まえ、各都道府県の医師偏在指標が確定する前の段階において示すものであり、指標の値を最も大きいものから並べて1/3の閾値を266.9、指標の値を最も小さいものから並べて1/3の閾値を228.0と設定している。

## (医師偏在指標について)

医師偏在指標は、医師偏在対策の推進において活用されるものであるが、指標の算定に当たっては、一定の仮定が必要であり、また、入手できるデータの限界などにより指標の算定式に必ずしも全ての医師偏在の状況を表しうる要素を盛り込んでいるものではない。

このため、医師偏在指標の活用にあたっては、医師の絶対的な充足状況を示すものではなく、あくまでも相対的な偏在の状況を表すものであるという性質を十分に理解した上で、数値を絶対的な基準として取り扱うことや機械的な運用を行うことのないよう十分に理解した上で、活用する必要がある。

(厚生労働省 医師偏在指標 (都道府県別) (令和5年8月9日更新))



## 医学科における専門教育に関する授業科目履修方法

(新潟大学医学部規程 別表第3)

授業科目名	必修・ 選択の 別	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次		卒業 要件 単位	備考
		第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期	第1学期	第2学期		
医学入門	必修		2											2	
早期医学体験実習 (EME)	必修	1												1	
発生学	必修				1									1	
人体の構造と機能 I	生理学	必修			3									3	
	解剖総論	必修			2									2	
	肉眼解剖学	必修			5.5									5.5	
	組織学総論	必修			2									2	
人体の構造と機能 II	神経の構造	必修			2									2	
	生理学	必修			3									3	
	生理学実習	必修			2									2	
	組織学各論	必修			4									4	
生体内物質と代謝	必修			4									4		
病気と遺伝学	必修				1								1		
分子生物学	必修				2.5								2.5		
基礎薬理	必修					3.5							3.5		
病理総論	必修					3							3		
生体防御 と感染	細菌学	必修				3								3	
	免疫学	必修				2.5								2.5	
	ウイルス学	必修				2								2	
	医動物学	必修				1								1	
	総合	必修				1.5								1.5	
疫学	必修				1.5								1.5		
医学情報学(基礎)	必修				1.5								1.5		
医学情報学(応用)	必修							0.5					0.5		
環境医学	必修					1.5							1.5		
法医学	必修							2					2		
公衆衛生学	必修							2					2		
医学英語 I	必修				0.5								0.5		
医学英語 II	必修							0.5					0.5		
基礎臨床統合 I	必修			1									1		
基礎臨床統合 II	必修				1								1		
統合臨床医学	必修					4							4		
臨床実習 入門	CBT	必修							2					2	
	OSCE	必修							4					4	
臓器別講義・演習 I	必修						15						15		
臓器別講義・演習 II	必修							18					18		
臓器別講義・演習 III	必修								7				7		
臨床実習 I A	必修								7				7		
臨床実習 I B	必修									15			15		
臨床実習 I C	必修										15		15		
臨床実習 II A	必修										7		7		
臨床実習 II B	必修											15	15		
臨床医学講義(集中)	必修											7	7		
医学研究実習	必修						7						7		
年次(前期・後期)別修得単位数		1	2	17.5	20	22	22	22.5	20.5	15	22	15	7	186.5	